

臨床研究の実施に関する情報公開

静岡県立総合病院では、臨床研究倫理委員会の承認を得て、下記の臨床研究を実施します。関係各位の御理解と御協力をお願い申し上げます。

研究の拒否	患者さん又は患者さんの代理の方が、この研究のために試料・情報が使用されることにご了承いただけない場合は、問合せ先までご連絡ください。
研究課題名	同種造血幹細胞移植患者におけるオピオイドの使用状況
研究機関名	静岡県立総合病院
研究責任者	林崎修也
研究期間	実施許可後（2023年4月）～ 2024年3月
対象者	2018年1月から2022年12月までの5年間に当院で同種造血幹細胞移植をされた患者さんを対象にしています。
当該研究の意義・目的	同種造血幹細胞移植では、移植前に強力な抗がん剤治療や放射線治療が行われます。それにより生じる口内炎や腹痛、下痢に対してオピオイド鎮痛薬(医療用麻薬)が慣習的に使用されています。国内のガイドラインにも、医療用麻薬の使用についての記載がありますが用量や中止方法についての明確な記載はありません。この研究では造血幹細胞移植前後で使用される医療用麻薬の使用状況と安全性を評価することで、医療用麻薬の安全な使用に資することを目的としています。
方法および研究で利用する試料・情報について	対象となる患者さんの診療録（カルテ）から次の情報を調査します。 <ul style="list-style-type: none">・背景因子（年齢、性別、移植細胞腫別など）・血液検査結果・有害事象（嘔気、便秘、眠気など）・有効性・移植前処置（使用した薬剤、放射線治療の有無）・オピオイドの使用状況・併用薬 など
個人情報の開示に係る手続き	個人情報の開示に係る手続きは、下記の問合せ先にご相談ください。
資料の閲覧について	あなたからのご要望があれば、この研究において開示が可能であると考える範囲内で、この研究の計画や方法についての資料をご覧いただくことができます。
問合せ先	◆その他、この研究に関するお問合わせ、ご意見等ございましたら下記へご連絡ください。

静岡県立総合病院 薬剤部 林崎修也 代表 054-247-6111
